

平成 29 年度第 3 回「グループホームたなお」運営推進会議議事録

日時：平成 29 年 9 月日（土）18:30～

場所：グループホームたなお

1. 管理者あいさつ

2. 出席者紹介

ご家族様：4 家族、町内会長、高齢介護課職員、GH 管理者、GH ユニットリーダー

3. 運営状況について

- ・入居者数：18 名 夢の華：9 名（男性 3 名・女性 6 名）
8/26 で満床 希望の華：9 名（男性 2 名・女性 7 名）
平均年齢：87.5 歳（75 歳～99 歳）
介護度：Ⅰ…6 名 Ⅱ…8 名 Ⅲ…4 名 平均介護度：1.88
- ・事故発生状況：転倒 8 件、内服忘れ 2 件、離設 2 件、切傷・打身 2 件
内容
 - ①転倒：いずれも大きな怪我には至らなかった
 - ②内服忘れ：服薬忘れ
 - ③離設：一人で外へ行ってしまわれた。
うち 1 件は自宅へ帰られてたことがあった。
 - ④切傷・打身：知らない間に出来ていた痣の発見
- ・誤嚥性肺炎による入院 1 件（10 日間）
口腔ケアを毎食後行っている。
- ・外出：さとへ外食（夢の華）、ケアラズカフェれんげ草 2 回、
衣浦花火大会見物、源氏地区の地蔵祭り参加
- ・個別外出：米津の花火大会見物、毘沙門さんへお参り、理容付き添い
一人での散歩：最初はスタッフが付き添っていたが、在宅時に一人で散歩を
されていた方なので、自由が感じられないと今は一人で行っている。近隣住
民の方が協力的で声をかけてくださったりしているようで、とても感謝して
います。
- ・イベント：誕生日会、ホーム玄関前にて花火
- ・ボランティアの受け入れ：整膚ボランティア 1 人 5 分程度で、1 回の訪問に 5 人程施
術してもらっている。
- ・棚尾地区防災訓練参加 8/27 棚尾小学校まで 13 名 40 分かけ避難
朝起きてこられなかった方、体調不良の方を除き徒歩や車椅子にて避難。
現在、事業所の車椅子が 1 台、個人の車椅子が 1 台の計 2 台あるが、実際にはたなお小
学校へ行くには 6 台は欲しいところである。
また、避難場所を棚尾小学校にするか毘沙門にするか、もしくは無理をせずにホームに
残るかを検討中。

気候も過ごしやすくなってきたので、散歩などをして筋力低下を防ぐようにするかも検討中です。

- ・ 職員研修：(内部) 緊急時の対応等に関する研修
(外部) 認知症シスター養成研修 1名
小学生向けに認知症の紙芝居が出来る
認知症基礎研修 3名
全職員に受けてもらう事が望ましい
その他認知症に関する研修 2名
10月：キャリアパス対応型チームリーダー編に 1名参加
11月：認知症介護実践者研修に 2名参加
キャリアパス対応型中堅者編に 1名参加
- ・ 医療との連携強化：盛田歯科医院との協力病院契約 往診可能に
碧訪問看護ステーションとの訪問看護契約
※週 1 回定期訪問 24 時間オンコール体制
訪問看護との連携が出来たことにより、終身可能になりました。
しかし、在宅へ戻ることも可能です。
家族の意思を統一しておいて頂きたいです。
- ・ 加算の変更：介護職員体制加算の申請 6 単位/日
医療連携体制加算の新規申請 39 単位/日

5. 意見交換

<町内会長>

- ・ 介護施設が今まで棚尾地区にはなかった為、初めてのことだが今のところ特にない。
→フーズの店員さんが声をかけて下さるようになったり、荷物が多いとカートを貸して下さるようになり、感謝しています。

<ご家族>

- ・ 母を受診に連れていくことで状態が分かっていたが、今はお任せしている事で健康状態がどんどん分からなくなっている。
→面会時や請求書送付の際に様子を伝えるようにしていきます。
- ・ 面会者がいた時に、お礼の電話などをしたいので分かると助かります。
→面会簿はありますが、毎回の記入が負担などの意見があったりして活用が現在出来ていない。今後、何か良い方法を検討していきます。
- ・ 最近、記録を読ませてもらい今まで分からなかった様子が、細かく書いていてくれていて分かるようになってきた。
- ・ 外出の予定が分かる時は前もって教えてもらいたい。
- ・ →予定が分かった段階でお知らせが出来るようにしていきます。

- ・最近は落ち着てきていると思います。
 - ・带状疱疹の時はご迷惑をおかけしました。
 - ・家では床に座っての生活だったが、こちらに来て椅子での生活になり家では立てなかったのが、セーフティーアームを使わずに歩けるようになっていて驚きました。
 - ・家族が2～3日遠出してしまう場合には連絡を入れた方が良いでしょうか？
- 連絡を入れてもらえると助かります。その際、緊急連絡先も教えて頂けたらと思います。

<高齢介護課>

- ・災害時、夜間などスタッフ不足の時はどう対応するか、近隣住民の方との協力体制はどうなっていますか？
- 次のホームでの避難訓練は夜間想定で行います。その後、体制などの検討をしていきます。

<管理者>

- ・訪問看護とは相互に連絡をし合っています。また、入居者様から「女性が良い」という声もあったので、女性の看護師を雇って下さり、その方にも来て頂けるようになりました。
- ・災害時、地域の方への要介護者避難場所として1～2日、数名ならばホームでの受け入れが可能です。
- ・衣替えの季節になってきましたが、衣類に名前を記入して頂きたいです。また、無記名の物の確認を後でして頂けたらと思います。
- ・差し入れをする時はスタッフに一言声をかけて頂けるとありがたいです。
- ・以前、救急車が出入り出来るか試してくれた時に、入ってくることは出来たが出るのに40分くらいかかったそうで、現在は要請をした時に長田医院の駐車場に停めてもらい、スタッフが誘導しています。

次回：平成29年11月18日（土）18：30～